

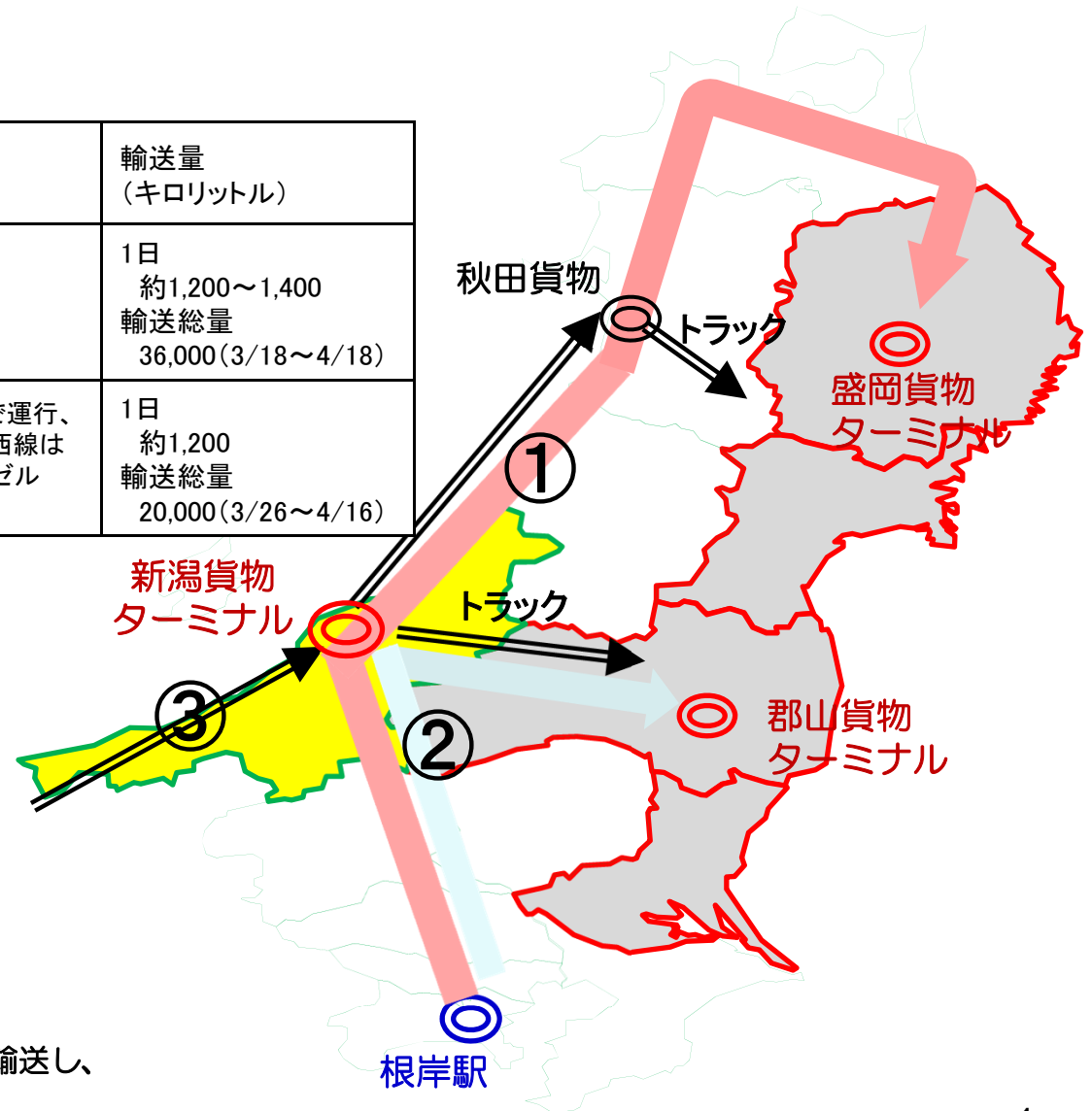
東日本大震災対応

全国ネットワークにより被災地をバックアップ

東北本線が寸断されたが、日本海縦貫ルートを活かして、新潟を中継して被災地をバックアップする輸送体系を速やかに構築。

【石油製品輸送】

| ルート | 路線 | 便数 (1日) | 両編成 | 輸送量 (キロリットル) |
|------------------------|--------------------|------------|--|---|
| ① 横浜(根岸駅) ⇒新潟⇒盛岡 | 上越線 信越線 羽越線 | 2便 | 20両編成 | 1日 約1,200~1,400 輸送総量 36,000(3/18~4/18) |
| ② 横浜(根岸駅) ⇒新潟⇒郡山 | 上越線 信越線 磐越西線 | 2便 | 根岸-新潟を20両で運行、 新潟-郡山の磐越西線は 10両編成のディーゼル 機関で運行 | 1日 約1,200 輸送総量 20,000(3/26~4/16) |



【支援物資輸送】

③関西、九州方面などから新潟、秋田の貨物駅まで輸送し、トラックに積み替えて被災地まで届ける。
(レール&トラック)